

第3回東京都・区市町村CIOフォーラム

令和4年5月24日
デジタルサービス局

- チェアマン挨拶（15分）
- 事務局報告（10分）
 - 質疑応答・意見交換（5分）
- 自治体からの事例共有（35分）
 - 質疑応答・意見交換（15分）
- 国からの情報共有（30分）
 - 質疑応答（10分）

■チェアマン挨拶（15分）

東京都副知事（CIO） 宮坂 学

■事務局報告（10分）

➤質疑応答・意見交換（5分）

■自治体からの事例共有（35分）

➤質疑応答・意見交換（15分）

■国からの情報共有（30分）

➤質疑応答（10分）

■チェアマン挨拶（15分）

■事務局報告（10分）

“オール東京一丸となって取り組もう”の実践に向けて

✓各ワーキンググループにおける取組

✓共同調査（行政手続オンライン化将来ビジョン）

✓区市町村向け都事業

➤質疑応答・意見交換（5分）

■自治体からの事例共有（35分）

➤質疑応答・意見交換（15分）

■国からの情報共有（30分）

➤質疑応答（10分）

①各WGにおける取組

- ▶ 昨年度、当フォーラムに人材確保・育成、デジタルツール共通化の2つのワーキンググループ（WG）を設置
- ▶ **本年度、新たに自治体DX推進WGを設け、国が定める主要な20の区市町村業務基幹システム標準化・共通化に向けた対応策を集中的に検討**

新

人材確保育成WG

ツール共通化WG

自治体DX推進WG

設置目的

○ DXを推進する上で基軸となるデジタル人材の確保・育成に関して、外部人材の任用や共同研修の実施など、都と区市町村の連携による具体的な取組について検討

導入するデジタルツールの共通化等を図ることにより、操作ノウハウの共有やコスト面での工夫の可能性を検討

○ 国が定める主要な20の業務基幹システム標準化・共通化に向けた対応策を集中的に検討し、必要な支援ニーズを集約するとともに具体化

メンバー

墨田区、練馬区、江戸川区、三鷹市、昭島市、あきる野市、大島町

世田谷区、中野区、足立区、葛飾区、八王子市、町田市、多摩市

※調整中

取組
これまでの

- ・ 国の調査結果の分析・検証
- ・ 調査結果等を踏まえた課題検討

- ・ デジタルツール利用状況調査
- ・ 検討範囲・当面の取組等の意見交換
- ・ 事例共有・ヒアリング等

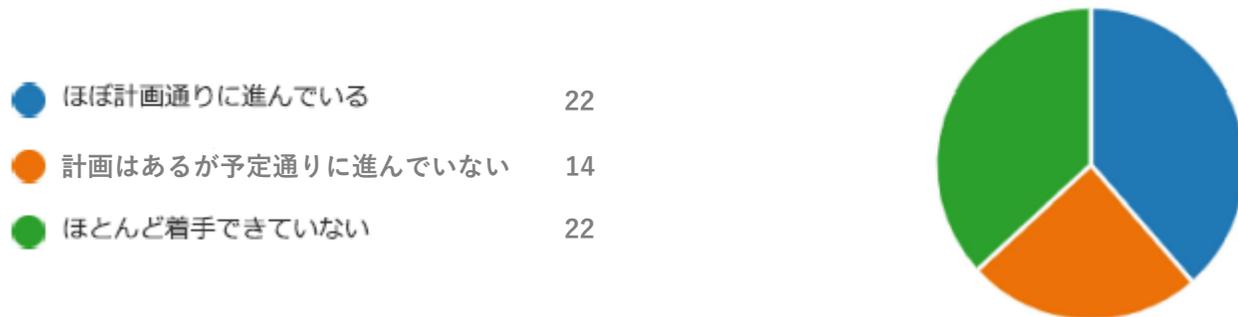
- ・ 自治体DX推進計画の取組状況等に係る調査・分析
- ・ DX推進にあたり、必要とする支援策等に係る意見交換・検討

取組
今後の

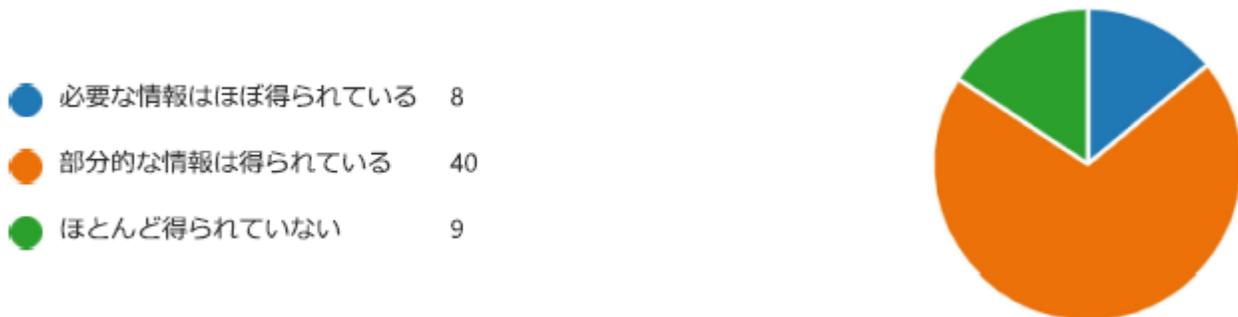
- ・ 具体的な取組の検討
- ・ 具体的な取組のまとめ

- ・ 共通コミュニケーションツールの導入
- ・ その他ツールの共通化等の検討

基幹系20業務システムの標準化・共通化への現在の取組状況について、教えてください。



システム標準化・共通化に関して、事業者等からの情報提供はありますか。



【区市町村の声】

- 計画を策定し、その計画との進捗管理を行っている
- 計画はあるが、仕様が思ったよりも遅いので、予定通りに進んでいない
- 国から示される仕様が具体的でないため、今は待っている状況
- ベンダーから、今の仕様の開示状況ではなかなか進められないと言われている
- ベンダーからももう少し様子見するしかないと言われている

外的要因もあり、計画の有無や進捗管理だけでは、回答の真意が測れないので、丁寧に聞く必要があることが分かった。

(参考) デジタルツール共通化等WG

1. 目的

共通コミュニケーションツールを導入することで、都・区市町村間の連絡調整等の円滑化を図り、フラットなコミュニティを形成

➔ 区市町村・東京都間で顔の見える関係を構築し、積極的支援を推進

2. 導入手順

3月：ツールWGにて「LoGoチャット」の試行導入を決定

4月：ツールWG参加7団体※による先行利用開始（無料トライアル）
個人（または組織）に対しアカウントを発行し、
共通のトークルーム内で自治体間交流を実現

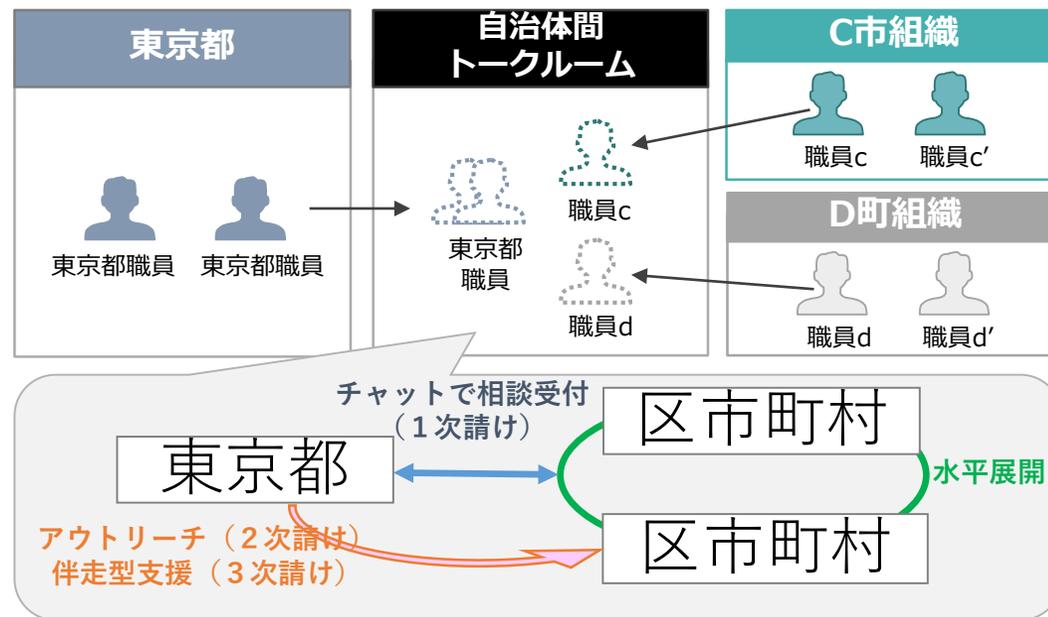
※世田谷区、中野区、足立区、葛飾区、八王子市、町田市、多摩市

先行期間中
検証事項

・複数自治体間での情報交換を行う場合の
ルールづくり（情報セキュリティの在り方）

7月：順次、他WG・団体に試行拡大

9月：都内全区市町村の参画による本格運用



フラットなコミュニティをベースに迅速な受付からより積極的な相談支援へと

| # | 実施内容 | 2021年度 | | 2022年度 | | |
|---|---------------|---------------|-----------------|---------------------------|--------|--------|
| | | 第4 四半期 | 第1 四半期 | 第2 四半期 | 第3 四半期 | 第4 四半期 |
| | | ★ツールWG（導入決定） | | | | |
| 1 | 無料トライアルによる試行 | | 先行利用 (ツールWG) | 試行拡大 (順次、他WG・団体への利用拡大) | | |
| 2 | 本格運用（有償ライセンス） | 課題抽出・運用ルールの検討 | | 調達・準備 | 本格運用 | |

都内全区市町村の参画

② 共同調査について

- 本フォーラムにおいて東京都全体の行政DX推進を図るため、共同調査を実施

想定する共同調査フロー

今回

調査テーマの設定

前回フォーラムでの意見交換を踏まえ、
区市町村アンケートを行い、テーマを設定

今後

現状調査

テーマに関する現状調査を実施する

先行事例調査

テーマに関する国内外の先行事例を調査する

課題分析

現状と先行事例のギャップを抽出・分析する
※ギャップ = 課題

解決策検討

課題を解決するための施策を検討する

具体的取組検討

解決策実現のための具体的取組を検討する

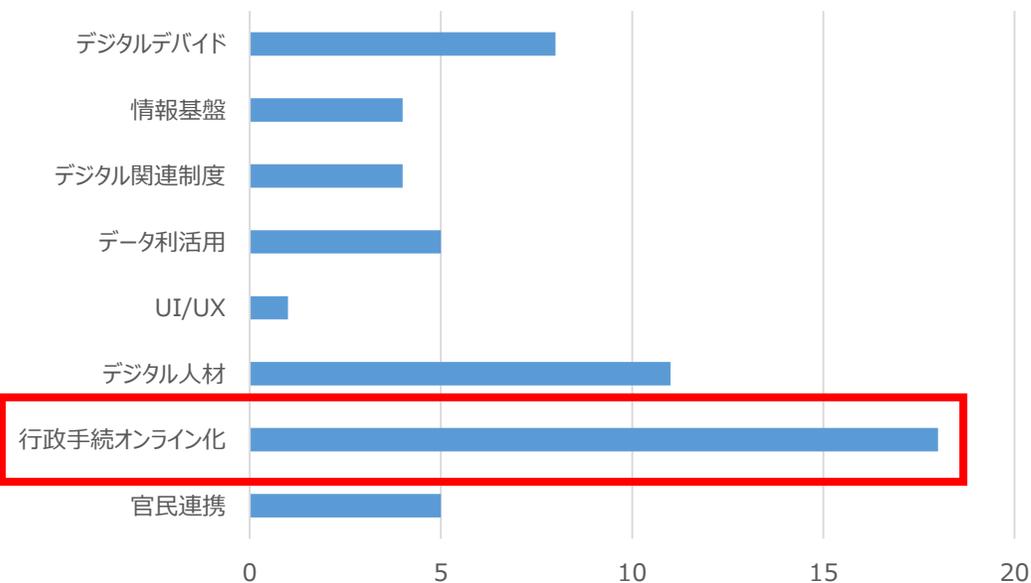
W 調
G 査
等 結
で 果
活 を
用

共同調査アンケート結果

- 意見交換をもとに8分野にてアンケートを実施した結果、最多投票は「行政手続オンライン化」であった。また、調査テーマアンケートの結果最多得票は「システム・ツール標準化」であった。

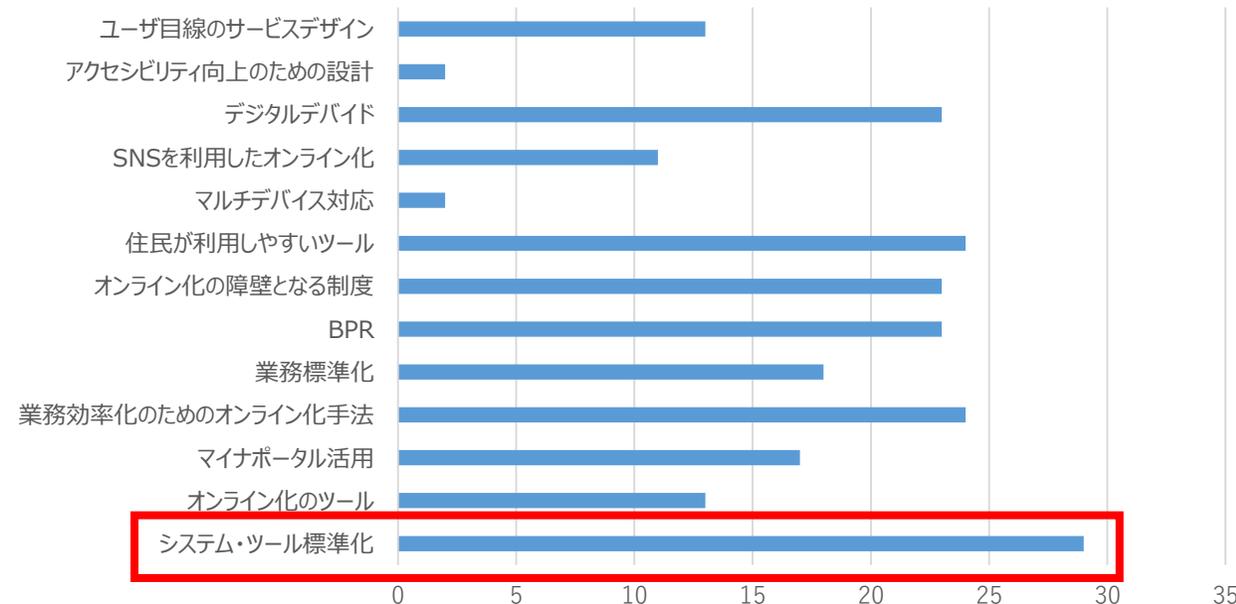
共同調査分野

回答数 = 56団体



共同調査テーマ

回答数 = 54団体



「行政手続オンライン化」に向けた「システム・ツール標準化」を調査テーマに設定

③ 行政手続等デジタル化推進事業

区市町村との共同による取組



- 令和3年度の事業実施5団体に対し、支援を継続するとともに、映像コンテンツやハンドブック等の作成、活用により、横展開を実施。
- さらに、**新規5自治体へ取組を拡大取組の対象業務領域を拡大**し、一貫した行政手続等のデジタル化を推進。

| | |
|---|--|
| 取組 1 令和3年度モデル事業対象団体への継続支援・横展開 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 運用に関する支援（試行中のツールに関するサポート等） ■ 令和3年度事業実施団体の取組を基にハンドブック※を作成し、横展開 |
| 取組 2 新規5団体への支援拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 昨年度の取組実績を踏まえ、新規5自治体へ取組を拡大 |
| 取組 3 対象業務領域の拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 対象となる業務領域を拡大（バックオフィス、複数事務等）し、一貫した行政手続等のデジタル化を推進 |

| ※ハンドブック案 | |
|-----------|---|
| BPR手順 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 現状フローの洗い出し ■ 課題抽出 ■ 改善計画の策定 ■ 実行 ■ 評価・振り返り |
| 教育コンテンツ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 管理職向け・DXマインドセット ■ BPRの回し方 ■ SaaSツール導入のコツ ■ 自治体DXの進め方（令和3年度5モデルの事例紹介） |
| 業務フローナレッジ | <ul style="list-style-type: none"> ■ As-Is、Can-Be、To-BeモデルのBPMNフロー（令和3年度モデル事業の事例） |

○業務スケジュール（案）

| # | 実施内容 | 2021年度 | 2022年度 | | | |
|---|--------------|--------|--------|-------|-------|-------|
| | | 第4四半期 | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
| 1 | 実施意向に係るヒアリング | | → | | | |
| 2 | 対象区市町村の選定 | | → | | | |
| 3 | 事業実施 | | → | | | |
| 4 | 評価、振り返り | | | | | → |

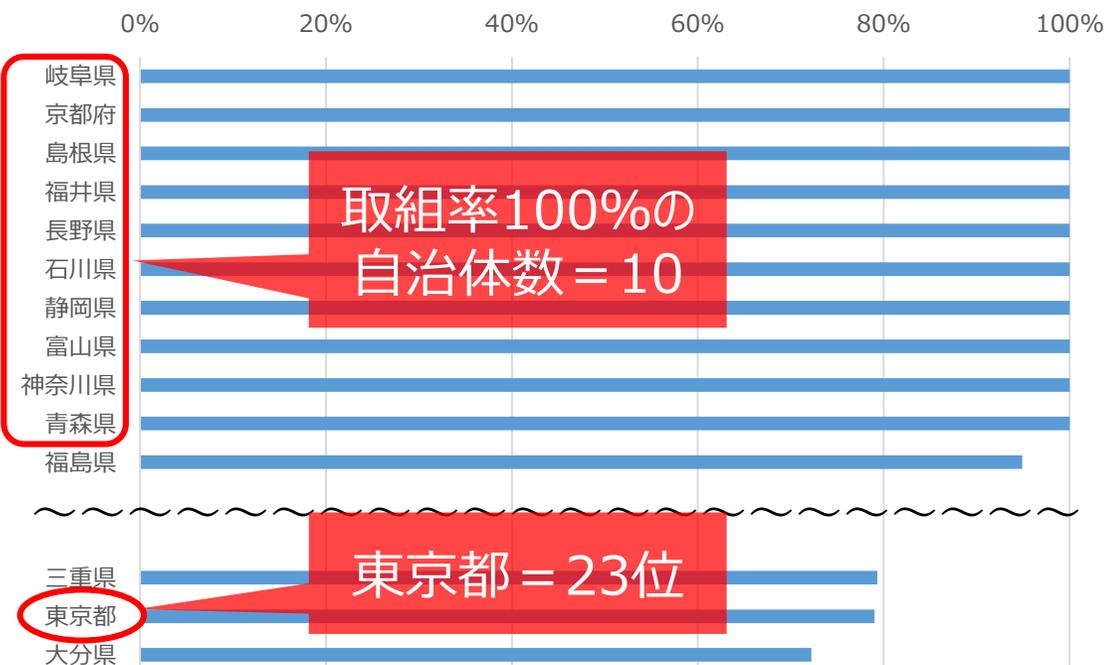
(お願い) 東京都オープンデータカタログサイトのデータ拡充に関するご協力

概要

都では、民間企業やシビックテック等がデータを活用し、利便性の高いサービスを創出できるよう、**民間ニーズを踏まえたデータの積極的な公開**を推進しています
都内オープンデータの更なる拡充に向け、**東京都オープンデータカタログサイトのデータ掲載**にご協力をお願いします

東京都の取組状況

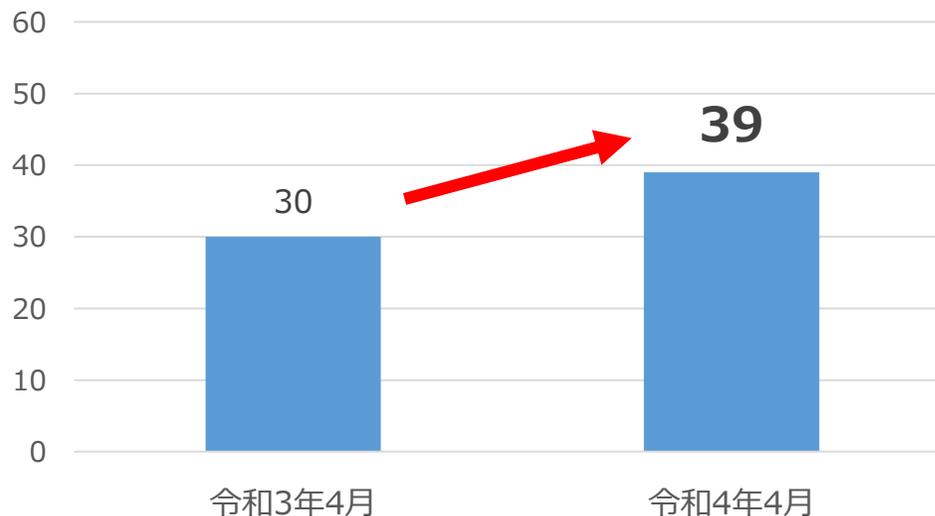
全国都道府県別 オープンデータ 区市町村取組率



令和4年1月時点：デジタル庁のアンケート調査結果による

都内区市町村の取組状況

① 都カタログサイトに掲載：39区市町村（約63%）



② 自治体HPのみで掲載：12区市町村（約20%）

令和4年4月時点：都の調査結果による

お問合せ

都では、**東京都オープンデータカタログサイトへのデータの掲載方法のご説明など、オープンデータ未公開の自治体様に対する支援**などを行っております
オープンデータの取組に関して、**ご不明な点や困りごと等ございましたら、ぜひ右記担当までご連絡ください**

東京都デジタルサービス局
データ利活用担当
TEL：03-6273-5193

■チェアマン挨拶（15分）

■事務局報告（10分）

➢質疑応答・意見交換（5分）

■自治体からの事例共有（35分）

- ✓「区市町村における行政手続デジタル化モデル事業」の真の効果
ー生活保護業務のデジタル化を通してー（江戸川区）
- ✓学童クラブ入所手続きのオンライン化（多摩市）
- ✓職員の働き方改革の先行事例と今後の展開（中野区）
- ✓オープンデータ化の取組について（台東区）

➢質疑応答・意見交換（15分）

■国からの情報共有（30分）

➢質疑応答（10分）



■チェアマン挨拶（15分）

■行動規範“オール東京一丸となって取り組もう”の実践に向けて（10分）

➤質疑応答・意見交換（5分）

■自治体からの事例共有（35分）

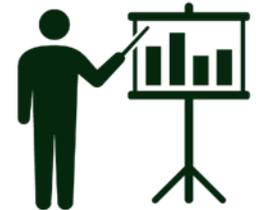
➤質疑応答・意見交換（15分）

■国からの情報共有（30分）

✓地方自治体の基幹業務システムの統一・標準化の取組状況について

デジタル庁統括官付参事官 浦上 哲朗 様

➤質疑応答（10分）



第3回東京都・区市町村CIOフォーラム

令和4年5月24日
デジタルサービス局

